

手の届く里山暮らし

まいの暮らし

益子町に住んでみたい
と考える、
そんなあなたにきっと
役に立つ情報誌。

益子町

益子といえば益子焼として名が知られている町
栃木県と茨城県の境目にある小さな町
そんなこじんまりとした焼き物の里に
人は心の安らぎを覚えると
そんな声をよく耳にします

広大な平野の終わり
その向こうにこんもりとした山が見える風景に
住まいの間を埋めるように点在する田畑の景色に
煙突からあがる煙に
どこか日本の原風景を思い起こさせるのでしょうか

ものづくりが生き
豊かな実りがあり
人と人のつながりが温かくある

大きな商業施設こそないけれど
作って工夫して集う愉しみを自分で見つける
そんな町で新しい価値観を生み出す
新しい暮らしを探せる益子をご紹介します



栃木県益子町

益子の風土

益子は土に向きあう農業と窯業の町。
また、焼き物だけではなく、手仕事の人が多く暮らす町でもあります。
人は自然に働きかけて、風土を作ってきました。自然や風土に感化され、地元の人だけでなく外からも人が訪れることで、人の営みが風土を更新し続けてきました。こうした中に、身近な美を感じ健康な暮らしを理想とする民藝運動の考え方が加わることで、独特な手作りの生活文化が形成された町となっています。

益子の気候

益子は栃木県の南東部に位置し、雨巻山や高館山などを有する八溝山地の地域です。これらの山々から大羽川や百目鬼川などが流れ、それらは利根川と合流する小貝川に注いでいます。梅雨の降水量が比較的少なく、水不足を補うための溜池が各地で見られます。年間平均気温は15℃前後と温和です。



益子の産業・観光

益子といえば「益子焼」。
益子焼は江戸時代の末期に笠間で習い覚えた大塚敬三郎が窯を築いたのが始まりとされ、以後多くの日用雑器を生産し、焼き物の産地として有名になりました。1924年に濱田庄司が移り住み、柳宗悦、河井寛次郎らとともに「用の美」に着目した民藝運動を進めます。無名の工人による民衆的工芸品の中にこそ美が宿る、という考え方は当時の益子焼の陶工らにも大きな影響を与えました。国内外の交流も盛んに行った濱田庄司が作った益子の気風はものづくりを志す移住者を増やすことへとつながり、現在多様性になった約250軒の窯元を有する窯業地になっています。また、年に2回開催される「益子陶器市」には多くの観光客が訪れ、観光地としても益子は魅力ある町になっています。
また、農業も盛んで、温暖な気候を活かし色々な作物がまんべんなく一年中とれます。果樹栽培も盛んで季節毎に果物狩りが楽しめます。農作物で多くとれるのは米、麦、蕎麦などの穀物類です。

益子の歴史

縄文時代以前から人が住んでいた痕跡があり、指定文化財は107件を数えます。中でも室町時代の三重塔や楼門などが残る古刹・西明寺や、中世の名族・宇都宮氏が建てた地藏院など国指定文化財が7件残されています。
その他、春には菜の花や桜の名所となる総数35基が圧巻の小宅古墳群や伝統芸能、祭りも各地域に伝わっており、益子の歴史文化を肌で感じることが出来ます。



基礎情報

- 人口 22,972 人
- 世帯 7,797 世帯 (2017.1.1 現在)
- 気候 (2016)
 - 年間平均気温 14.4℃
 - 最高気温 37.6℃
 - 最低気温 -7.6℃
 - 年間総降水量 1,284.5 mm
- 面積 89.4 km²
 - 最高点 標高533.3m(雨巻山)
- 主な産業 農業と窯業
 - 年間観光客数 約200万人
- 文化財
 - 国指定重要文化財 7
 - 県指定文化財 36
 - 町指定文化財 64
- 町の花 ヤマユリ
- 町の木 アカマツ
- 町の鳥 ウグイス



移住者に聞く②
ハナメガネ商会店主
マズダモモエさん

都会のお洒落さとは違うけど、皆さんそれぞれ自分のスタイルでやっているところがいい刺激になります。



「益子にはセンス良くて料理上手な人も多い。遊びに行けば住まいも素敵で、都会のお洒落さとは違うけど、皆さん



移住してよかった、自分には合っていたというマズダさん。このまま益子でお店をコツコツと続けていきたいと笑顔で語ります。

移住者に聞く①
WORKSHOP770
田村大作さん

益子に来てから居心地がいいと思える場所で暮らしていきたいようになりました。



セルフビルドで作上げた店内には自家製酵母のパンと陶器などが並び、店主の田村大作さんが温かく迎え入れてくれます。



を販売するお店 WORKSHOP770。2年後にはパン工房を、6年後にはアイスクリーム工房を作りました。今は調理学校の講師の仕事と掛け持ちで、大忙しの毎日だと言います。

東京のフランス料理店で料理人としていた田村さん。料理の仕事を始めて10年を区切りに、田舎でじっくりと料理の仕事をしたいと思っていったところ、益子のペンションのシェフを任されることに。それをきっかけに益子に移住することになりました。3年ほどペンションでのシェフの仕事を続けましたが、その間に結婚した奥さまの香織さんと二人、ものづくりの仕事をしたいと決心、お店を持つと計画します。「あまりお金もかけられない。じゃあ、田村君自分で建てたらいいじゃないと言われました。益子では当たり前だと思わなかったから、その思い込みで動いた感じですね。その時は一人で建物を作るノウハウもないので、一人の大工さんの協力を得ながらセルフビルドに挑戦しました。作りながら考える日々、完成までに1年かかったそうです。そしてオープンしたのは田村さんの木工作品と、陶芸家である香織さんの器

それぞれ自分のスタイルでやっているところがいい刺激になります」
やがて自宅の一角で始めたお店もすぐ近所にあった古民家を紹介してもらい、「ハナメガネ商会」として改めてオープンさせました。「これも都会ではなかなかできないことですね。人づてに紹介してもらったら、無理なく運営できるくらいの家賃でやってみようかなって。普通なら躊躇してしまうことも挑戦できる環境があると思います」。この時の古民家の改修は、協力的な大工さんがすぐ見つかったので、順調に進んだということ。益子に来てからは地域の人、町中の知り合いに助けられることが多かったとマズダさんは言います。「お店をやっていることで人とのつながりが増えました。町の人のつながりは、いざという時とても頼りになりますね。声をかけてみると本当に親身になってくれます」。

それまでは住む場所なんてどこでもいいと思っていたけれど、益子に来てから居心地がいいと思える場所で暮らしていきたいと思うようになったそうです。益子に来た当初、知り合いの農家さんのレタス畑から山を見た時に「ここはいいところだなあ」と感じたその場所で、たくさんのつながりを大事にしながら、次の目標へと進んでいます。



暮らしを楽しむ 日常の中にある、暮らしの楽しみ方いろいろ。

カフェと

パン屋さん

益子にはカフェが沢山点在しています。お店の作りや器づかい、メニュー、どれも個性的で洒落なところばかり。一人のちよつとした空き時間や友人、知人との大切な時間を過ごすにはもってこいです。

また、パン屋さんが非常に多いのもまた益子の魅力。いずれも自分に合うお店を探す楽しみがあります。



お店めぐり

益子駅前から城内坂に続く通りには地元商店や民芸店がたくさんあります。

町の真ん中にある城内坂通りには焼き物販売店を中心に様々なお店が立ち並んでいます。「益子陶器市」「益子夜市」「益子の雛めぐり」など、年間を通してイベントの中心会場にもなることが多い場所です。お休みの日には駅前からゆつくりと散策してみるのもおすすめです。

自然・公園

栃木百名山の一つである雨巻山は、標高533.3mの芳賀郡最高峰。頂上からは日光連山や見晴らしの良い時は富士山までもが眺望できます。花の山として季節ごとに楽しみがあり、年間を通してハイキングが楽しめます。

「益子の森」のトレッキングコース、町南部の「大郷戸ダム」、「南運動公園」等々、益子には自然を楽しむスポットがたくさんあります。



食と器づかい

これぞ益子ならではの、各飲食店での器づかい。器によって料理は見た目も味も変わります。

お店によって色々ですが、こだわりの作家の器を使ってメニューを出してくれるお店がたくさんあります。お店での器づかいを参考にしながら自宅の器を考えてみるのも楽しいものです。料理も器も充実した食卓は毎日の暮らしに健康的な潤いを与えてくれます。



フルーツ狩りと季節を楽しむ

- いちご狩り(12月上旬～5月)
- ブルーベリー狩り(6月中旬～8月)
- 梨狩り(8月下旬～10月上旬)
- ぶどう狩り(9月上旬～10月上旬)
- りんご狩り(9月下旬～10月下旬)

8月のひまわり祭り、10月のコスモス祭りはたくさんのお花が咲き誇り、観光客を楽しませます。

春には各所の桜、初夏には麦畑、秋にはそばの花畑が日常の風景の中で見られます。里山の紅葉はもろろんのこと、冬の張り詰めた風景もまた綺麗です。



祭

あじさい公園太平神社で毎年6月に開催される「あじさい祭り」は毎年4人の稚児が巫女に扮してあじさいを奉納する献花祭や陶板大神輿の渡御、茅の輪くぐり、大祓式などが行われます。約5千株のあじさいが咲き誇る公園には約4百の提灯が灯り、幻想的です。

鹿島神社境内にある八坂神社の祭礼として始まった「祇園祭」では、町指定の民俗文化財で関東三大奇祭と呼ばれる「御神酒頂戴式」の他、「御上覧」、2005年から始まった「手筒花火」が益子の夏を盛り上げます。他に「芦沼獅子舞」「山本太々神楽」「綱神社太々神楽」など、伝統と新風が混じり合いながら受け継がれています。

美術館・施設

「益子陶芸美術館」では濱田庄司、島岡達三など益子を代表する陶芸家の作品の常設展示の他に様々な企画展を開催しています。

その他、濱田庄司の自邸、工房の一部を活用した展示館「濱田庄司記念益子参考館」、窯元つかもとにある「つかもと美術記念館」、代々続く藍染屋「日下田藍染工房」など、文化的な施設にも恵まれています。



道の駅ましこ

2016年10月にオープンした「道の駅ましこ」。

地場農産物や加工品の販売はもちろんのこと、企画展示、イベント開催など、地元と連携をとりながら益子ならではの魅力を発信し続けていきます。また、施設内のレストラン「ましこのごはん」では益子焼と益子の食材を活用した、こだわりのメニューを楽しむことができます。

また、「ましこのコンシェルジュ」では観光案内はもちろん、移住定住情報を提供しています。



風土に溶け込む家づくり

時間に追われない暮らしを求めて



古民家の玄関を開けると、ひんやりとした空気に包み込まれました。目に飛び込んできたのは、古材を使用した重厚感がある太い梁。天井が高いため、圧迫感はありません。夏を涼しく過ごせるよう風通しが良く、日差しを遮る設計がされておりあります。その反面、冬はとても寒いので、増築し、古民家とつなげ、新旧の建物の良さを感じられるような住まいでした。

ここにお住まいなのがTさんご夫婦。都会に長年住み、田舎暮らしがしたいと場所を探し始めたのは50歳の時。町内のある古民家を紹介され、住み始めたのが翌年のことでした。一人でゆっくりしたい、有機農業をしたい願いは叶いました。他県や町内で農業の勉強をし、野菜を作り始めました。奥さまは東京で定年まで働く予定でしたが、何度も足を運び、旦那さんの暮らしを見て、56歳の時に移住されたそうです。

増築した家は、好きな柄の陶板をしきつめた土間。影が美しいステンドグラス。アンティーク調の造作の扉。漆喰の壁、杉材の床。外壁は、柿渋で材木を塗装。柿渋は昔から木・布・紙などの染料や補



強剤・防腐剤・防水剤として使われてきました。季節が移ろうごとに、色の変化を楽しめます。2階はウッドデッキを広くとり、木々を眺めるのが、何よりの幸せだとか。

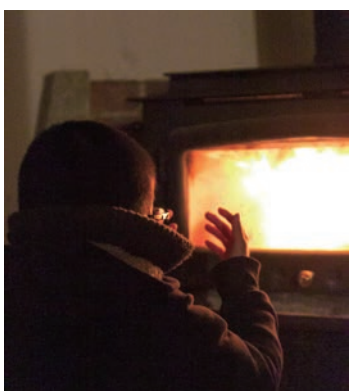
床暖房の部屋で、猫が寝そべっています。自然素材の家、好きな物に囲まれて暮らすTさんの豊かな時間が感じられました。都会ではなかったご近所付き合いを楽しまれ、自治会長を務めたこともあるとお聞きしました。移住した感想を伺うと、「益子の魅力は、自然豊かというの

薪ストーブがある暮らし

薪ストーブは遠赤外線による、やわらかな暖かさが一番の特長です。炎のゆらめきに癒されます。薪ストーブがある家は、常に空気が動いているので、心地よく過ごすことができます。

薪ストーブで、料理をすることも、楽しみのひとつ。ホーローの鍋やダッチオーブンで、コトコト。煮込んだカレーやポトフ、家族が喜んでくれる顔を想像すると、つい微笑んでしまいます。

薪ストーブには薪割りがつきもの。斧で薪割りをしてみると、スパンと割れた時、爽快感が得られます。薪割りが負担という方は、ベルトストーブがおすすです。薪ストーブと同じ遠赤外線効果があり、自動着火、消火付



庭を楽しむ

朝、目覚めて、小道を散歩。その後、家庭菜園で野菜をとり、新鮮な野菜で朝ご飯。田舎暮らしの醍醐味です。庭があると手入れが大変。でも、得るものはそれ以上にあります。

庭の植物を愛でながら、ウッドデッキで夕涼み。イスとテーブルを出して、お酒とおつまみを持って、夕焼けを眺めましょうか。

自然素材の壁

壁は珪藻土や漆喰をご自分で塗装することもできます。友達を集めて、家一軒、塗装した方もいます。珪藻土は調湿作用に優れていて、消臭効果もあります。

風土に溶け込む家づくり

住みたいと思った場所に、居心地よい家。好きなもの、好きな雑貨に囲まれてみると、ただそれだけで贅沢な時間が流れていくことでしょう。

誰しも、こんな暮らしがしたいという希望があると思います。疲れを癒し、次の日の活力を与えてくれるのも、家の大きな役割。益子は土地の単価が低いので、広い庭がある家を持つことや、貸し一軒家をリフォームして快適に暮らすこともできます。益子でどんな暮らしができるのか、可能性は無限大です。



手造りの家具

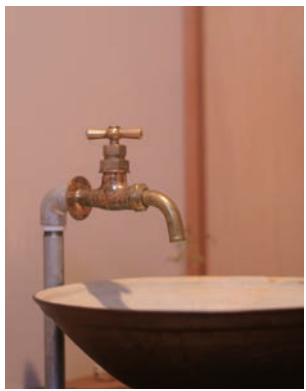
DIYで家具造りをするのは、造る楽しみ、使う楽しみがあります。家具に対して愛着がわき、塗装を変えるだけで、部屋の雰囲気ガラリと変えることができます。

家具、木工作家が多い益子。作家にオーダーをすることもできます。真心込めて造られた家具は、存在感があり、室内のインテリアに溶け込みます。

益子焼の手洗い鉢

益子焼の手洗い鉢は、洋風、和風、どちらの家にも相性が良いです。

手洗い鉢のゆつたりとしたろくろ目、絵付けの筆の勢いから、作り手の想いや息使いまで伝わってきます。お気に入りの大鉢に、配管用の穴を開けてもらい、洗面鉢にすることも可能です。





働くための情報

益子で働きたいあなたへ

益子町民の働き方

焼き物をはじめとするものづくりを仕事にしている方や、小さなカフェや商店などが多い益子町は、観光地であることから新たに起業する方にとってはチャレンジがしやすい環境と言えます。

一方で働く人の半数以上は町外に勤務しており、近隣の工業団地などへの通勤がしやすい環境となっています。

起業・就職に関する支援制度

起業支援補助金

町内で起業する方にその事業費の一部を補助します。

補助額 | 100万円以内（初期投資経費の1/3以内）

要件 | 町内に住所を有し、町内で新たに起業する方など

雇用支援応援金

若年者の正規雇用と町内への就職を支援するため、町内の事業主に対し、奨励金を支給します。

融資制度

町内中小企業が必要とする資金の融資を促進し、経営改善と合理化を図ります。

貸付限度額 | 設備資金・運転資金 1,000万円以内

対象 | 町内に事業所を有し、1年以上事業を営むなど

企業誘致制度

新設または増設に要した投下固定資産総額が2,000万円以上かつ従業員が3名以上の企業に固定資産税相当額を5年間交付するなど、様々な優遇制度を用意しています。

新規就農するには…青年就農給付金

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修期間（2年以内）及び経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保する給付金を給付します。

陶芸家になるには…

栃木県窯業技術支援センター伝習生募集 お問い合わせ | TEL: 0285-72-5221

その他、焼き物に関する情報 > 益子焼ポータルサイト「Mashiko-DB.net」

就職求人情報

ハローワーク 真岡 | 住所 真岡市荒町 5101 TEL: 0285-82-8655

とちぎジョブモール | 就職・転職の相談、個々の能力や特性を踏まえたキャリアカウンセリング、職場定着までをワンストップで支援します。

住所: 宇都宮市駅前通り 1-3-1 KDX宇都宮ビル1階

TEL: 028-623-3226

とちまる就活アプリ | 県内の求人企業情報や合同企業説明会などの各種イベント情報を一括で収集・管理できるスマートフォン向けアプリです。AppStore、Googleplayから無料でダウンロード、利用できます。

詳しくはWEBで検索

ましこの暮らし



住まいの情報

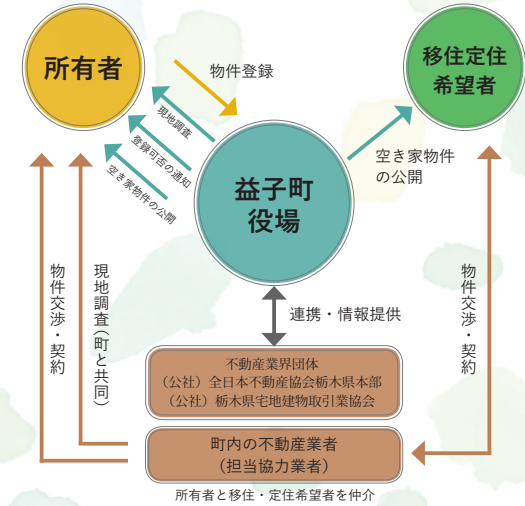
益子で家を持ちたいあなたへ

空き家（空き店舗）バンク

空き家、空き店舗の所有者から提供された空き家情報をホームページで公開し、移住、都会との二地域居住、起業などを希望する方に幅広く情報を紹介するシステムです。契約時も不動産業者を介して行うので安心です。

益子町の空き家バンクでは、事前の利用登録は必要ありません。

空き家バンクに登録された物件で見学を希望される物件が見つかった場合は、直接担当不動産業者にご連絡ください。詳細はホームページをご覧ください。



土地や住まい探しのお手伝い（空き家バンク協力業者）

不動産業者名	所在地	TEL
あおい住宅（合同）	益子 1006-1	0285-81-7602
小林商事（合同）	北中 915-1	090-7809-9363
(有)サクライハウス	益子 2824-2	0285-72-8368
(有)大晃組	大沢 2576-3	0285-72-6822
(株)外池酒造店	埴 333-1	0285-72-0001
ハシノホーム(有)	埴 644-16	0285-70-2210
ふるさと情報センター	益子 1862-3	0285-81-3361

住宅に関する支援制度

移住定住促進住まいづくり奨励金

町内に移住・定住するために住宅を取得した方に奨励金を支給します。

基礎額 | 新築 15万円 中古 7万円

加算額 | ①同居する子(18歳まで)1人につき: 3万円

②転入世帯: 2万円

③町内事業者が施工または販売: 2万円

住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金

薪ストーブやペレットストーブを設置する方にその費用の一部を補助します。

補助額 | 設置に20万円以上を要した場合1/10以内(5万円上限)

要件 | ストーブ設置後1年以内に町内に住所を有することが確実であることなど

住宅用太陽光発電システム設置費補助金

住宅用太陽光発電システムを設置する方にその費用の一部を補助します。

補助額 | 1kwあたり2万円(8万円上限)

要件 | システム設置後1年以内に町内に住所を有することが確実であることなど

詳しくはWEBで検索

ましこの暮らし



里山の子育て

益子で産まれ育った子ども達が大きくなり県外へ出て行ったときにふと思うこと。

「私たちは恵まれていた」

益子は見渡すと当たり前に自然があり、手仕事をする人たちがたくさん暮らしていて、昔から続くお祭りや行事があります。

益子に住む、私たちの当たり前の暮らしは他所から見るとうらやましいものに映るようです。

子どもの頃に過ごした町の景色、大人たちの背中。そこで学んだことは、こころの糧となり、ずっと背中を押し続けてくれるのではないのでしょうか。



待機児童ゼロ！ 充実した保育園・認定こども園

益子町には公立の園はなく、7園全て私立の認可施設になります。詳細は各園にお問い合わせください。



益子で産まれ育った子ども達が大きくなり県外へ出て行ったときにふと思うこと。「私たちは恵まれていた」

田野保育園

地元密着の保育園

卒園児はそのまま田野小学校、中学校と繰り上がる子が多く、たくさん時間を共に過ごしてお互いの個性を認め合いながら成長していきます。2013年から和太鼓にも力を入れていて、音やリズムを他人と合わせることで多くのことを学んでいます。この地域には太々神楽やお囃子などが古くから盛んで、大人たちも伝統芸能に慣れ親しんでいます。地域の環境を大事にしなが、のびのびと子どもらしく成長していけるように見守っています。



長堤 531
Tel: 0285 (72) 3531
http://www.tano-nn.ed.jp

益子保育園

家庭的な雰囲気なかで基本的生活習慣を身につける

働くお母さん、お父さんの気持ちになつて考え、寄り添いながら、子ども達と関わっています。生活の基盤となる食は特に力を注いでいます。和食中心にし、お箸の持ち方や姿勢・感謝の気持ちなどが身に付くよう取り組んでいます。また、味付けや調理に子どもが食べやすいような工夫したり、野菜をプランターで作ったり、調理の一部を手伝ったりと子どもが自らすすんで食べられるような工夫もしています。

益子 964
Tel: 0285 (72) 5670
http://mashikohokuen.ed.jp

みどり保育園

明るく元気にのびのびと

園庭で楽しそうに元気いっぱい遊ぶ子ども達の姿は地域も元気にしてくれます。子ども達が安心して過ごせるのはもちろん、親御さんも安心して仕事に専念できるようにと保護者の負担を極力少なくできるよう、日々心がけています。

町内で開催される春と秋の陶器市の際には他園に通っている子どもでも分け隔てなく保育しています。地域の特性を取り入れながら子ども達の健やかな成長を見守ります。

益子 3607
Tel: 0285 (72) 2415
http://www.ans.co.jp/r/midori/op.htm



七井保育園

高齢の方々と交流を通して思いやりの心、親切な心、感謝の心を学ぶ

円通寺の仏心を根底に、近隣の高齢者施設との交流や自然の恩恵によって育まれる情緒豊かで人間性溢れる子どもたちを育てることに努力しています。園庭のすぐ隣にある老人デイサービスセンターのベランダで日向ぼっこしている方たちに見守られながら、時には様々な事を教えてもらったりしながら子ども達は元気に園庭を駆け回ります。虫を見つけたりおままごとをしたり、木のぬくもり溢れる園舎は板張りです。開放的な雰囲気です。子ども達は安心してのびのびと過ごすことができます。

大沢 2492・2
Tel: 0285 (72) 2691

やわらぎ保育園

本物に触れる機会を増やして感性を磨く

途中で諦めず最後までやり抜く力を園の様々な取り組みによって育みます。マーチングバンドの練習では子ども同士お互いを励まし合い、自主的に取り組めるようサポートしています。大会などにも出場し練習の成果を存分に発揮し演奏できたときの感動は子ども達の大きな自信につながります。園での陶芸体験の際には伝統工芸士である作家に指導してもらい適切なアドバイスをもらいます。幼少期に知識だけでなく感覚として覚えたことはこれからの発達段階に応じ深い気づきと理解として身に付いていきます。

七井 3923・3
Tel: 0285 (72) 1419
http://www.makotoyawaragi.ed.jp

認定こども園たから幼稚園

大きくはばたけ たからの子 家庭ではできないいろいろな体験を園でできるようにと、たから幼稚園では仏教行事、クリスマス先生の毎日の英語、リトミックなど楽しく取り組める様々な環境を対象年齢に応じて整えています。町の中心に位置するので城内坂をお散歩したり、陶芸メッセや益子の森で体を動かしたりと園庭に限らず益子の四季折々の自然や文化を身近に感じることが出来るのも特色の一つです。自然に囲まれ自由にのびのびと、そして自主的に遊べるようになってもらいたいと思います。

益子 2935・1
Tel: 0285 (72) 5963
http://www.takara-k.jp

認定こども園七井幼稚園

子どもも大人も「楽しく、たくましく」

幼児教育38年の知識と経験を活かし、子どもはもちろん保護者への関わりにも力を入れていきます。子ども達は年間通して多種多様な楽しい活動を経験し、学びます。年長さんは「がんばりハイク」で芳賀富士、茂木の城山、雨巻山にも登山します。

一人ではできないこともお友達や親御さんと一緒にできるという成功体験をたくさんしてもらいたいと思います。保護者のサークルも各種活発に活動していて、保護者同士のつながりも作りやすくなっています。

大沢 1456・2
Tel: 0285 (72) 0492
http://www.nanai.ed.jp





子育て

地域全体で取り組む子育て

子育て応援手当

18歳以下の子どもを持つ世帯を対象に子ども1人あたり1万円分の地域通貨「ましこスマイル通貨」を年に1回支給しています。ましこスマイル通貨を利用することによって、町内のお店を知るきっかけにもなります。

ノーバディーズ・パーフェクトプログラム

私らしい子育てって何？たまには立ち止まって考えてみませんか。益子町保健センターで年2回開催しているノーバディーズ・パーフェクトプログラムは移民の国カナダで作られた親支援プログラム。0~5歳の子を持つ親が対象、教材は参加者みんなの日頃の子育て体験。それを元に一緒に考えたり、情報交換したり、アドバイスし合ったりする中でお友達ができたり、自分に合った子育ての仕方を見つけたりできます。

育脳プログラム

子ども達が自ら選び、自分が望んだ人生を歩めるようにするために必要な脳の育て方を学べます。日頃の環境や声掛けが子どもに及ぼす影響を知ることによって子どもの力を最大限に伸ばすことができます。対象年齢に合わせた町民講座を随時開催しています。

出産準備手当（ウェルカムベビー手当）

出産までの経済的負担の軽減を図るために、妊娠中の方に支給します。

支給額 | 胎児1人につき：3万円

要件 | 妊娠22週を経過、申請から認定まで町内に住所を有する、町税等を完納された方

チャイルドシート等購入費補助金

6歳未満の子どもが使用するチャイルドシートなどの購入費の一部を補助します。

支給額 | 上限1万円（費用の1/2相当額以内）

対象 | 2015年4月1日以降に出生した子



スポーツ教室

オリンピックや世界の舞台で活躍した選手を指導者に迎え、小中学生が技術を学ぶとともに、スポーツに対する興味と将来の夢を持つことを目的に開催しています。一流の選手の指導やプレー、言葉に触れた小中学生は、目の輝きが増し、大きな夢を描くことにつながります。

小学生向けの体験事業

ましこいきいきトライやるスクール

キャンプや自然観察などの野外活動や、実験や工作などの創作活動、英語活動など

対象 | 小学4年生~6年生 30名程度

北海道雄武町での体験活動「交流体験の翼」

友好都市であるオホーツク海に面した北海道雄武町の雄大な自然の中での漁業と酪農の文化を体験します。家庭とは違う集団生活は、自立心、責任感、感謝の気持ちを成長させるきっかけとなります。対象 | 小学4年生~5年生 15名



詳しくはWEBで検索

ましこの暮らしQ



外遊びするならココ

益子には自然がそこかしこにありお散歩したりピクニックしたり、年長さんくらいになれば登ってしまう山だってあるんです。自然を肌で感じながら身体をおもいきり動かすことによって感性も体力も向上します。



益子町南運動公園

大きなローラー滑り台が人気のこの公園には遊具広場、ジョギングコースのほか、サッカー場やテニスコート、陸上競技場があります。お天気のいい日にはお弁当を持参してピクニック。森林浴もおすすめです。

お問い合わせ Tel..0285 (72) 7985

(南運動公園)



益子町北公園

マシンコットをモチーフにした遊具がお出迎えしてくれるこの公園には、遊具広場のほか、ナイター照明設備のある野球場、サッカーや野球などが楽しめる多目的広場、ターゲットバードゴルフ場などがあり、お子様からお年寄りまで楽しむことができます。

お問い合わせ Tel..0285 (72) 9710

(あぐり館)



県立自然公園 益子の森

芝生広場と、少し登った場所には木製トリムがあり、自然の中で遊べる場所がたくさん。展望台や窯眺橋もあり益子を見渡すこともできます。天体観測施設もあって夜は星空を楽しむことができます。

お問い合わせ Tel..0285 (72) 3305

(フォレスト益子)



益子陶芸美術館

(芝生広場 遺跡広場)

元々益子古城があったといわれている場所。高台にあるので眺めがよいのが特徴。芝生もきれいに整備されていて、いつ来ても気持ちがいい場所です。

お問い合わせ Tel..0285 (72) 7555

(益子陶芸美術館)



大郷戸ダム親水公園

目の前に広がるダムの景色が気持ちよく、広々とした芝生公園があり四季折々の楽しみを満喫することができます。タイミングが合えばカワセミに会えるかも。

お問い合わせ Tel..0285 (72) 8836

(益子町農政課)



益子までの道



お気軽にご相談ください

益子町総務部企画課

移住定住に関する様々なこと、
お気軽にご相談ください。
〒321-4293 益子町大字益子 2030 番地
平日 8:30 ~ 17:15
TEL : 0285-72-8828
FAX : 0285-72-7601



ましこのコンシェルジュ (移住サポートセンター)

移住サポートセンター（道の駅ましこ内）のコンシェルジュが、益子に
移住を検討されている方をサポートします。益子に立ち寄った際には、
お気軽にご相談ください。
道の駅ましこ
〒321-4225 益子町大字長堤 2271 番地
営業時間 9:00 ~ 18:00 毎月第2火曜日定休日
TEL : 0285-72-5530

詳しくはWEBで検索
益子町移住・定住ワンストップサイト

ましこの暮らし 🔍

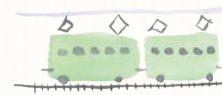


車での移動



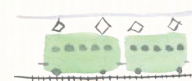
- 東北自動車道栃木都賀 JCT → 北関東自動車道真岡 IC → 国道 294 号線、
または 121 号線で益子まで。真岡 IC から約 25 分。
- 常磐自動車道友部 JCT → 北関東自動車道桜川筑西 IC →
県道 41 号線で益子まで。桜川筑西 IC から約 20 分。

鉄道での移動



- 東北新幹線
東北新幹線で小山まで。小山で水戸線に乗換え下館まで約 26 分。
下館で真岡鐵道に乗換え約 45 分で益子着。
- JR 宇都宮線
宇都宮線（または湘南新宿ライン、上野東京ライン）で小山まで。
小山で水戸線に乗換え下館まで約 26 分。
下館で真岡鐵道に乗換え約 45 分で益子着。
- つくばエクスプレス
つくばエクスプレスで守谷まで。
守谷で関東鉄道常総線に乗換え下館まで約 62 分。下館で真岡鐵道に乗換え
約 45 分で益子着。

バスと 鉄道の移動



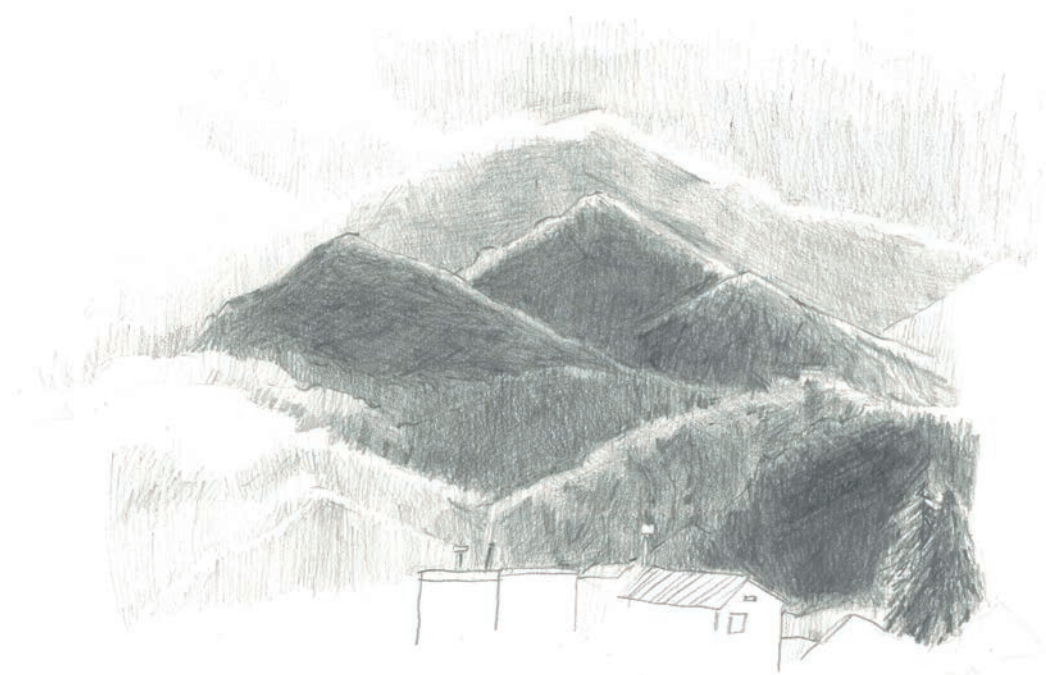
- 東北新幹線
東北新幹線で宇都宮駅まで →
宇都宮駅西口から東野バス益子駅行きで約 60 分。
- 東北本線
JR 宇都宮線（または湘南新宿ライン、上野東京ライン）で宇都宮まで。
宇都宮駅西口から東野バス益子駅行きで約 60 分。



高速バスでの移動



- やきものライナー 秋葉原一笠間一益子 料金 2,000 円（片道）
お得な 2 枚チケット 3,500 円（片道あたり 1,750 円）
（1 人で往復に使っても、2 人で 1 枚ずつ使っても OK。チケット 1 枚で小児
2 名のご利用もできます）



2017年3月発行

発行 | 益子町総務部企画課 地方創生担当

〒321-4293 栃木県芳賀郡益子町大字益子 2030 番地

TEL : 0285-72-8828 FAX : 0285-72-7601

制作 | 有限責任事業組合オフィスましこのね

印刷 | 有限会社 あらい印刷